

八王子障害者団体連絡協議会 八王子市議懇談会 記録

2013年2月15日(金)18:30~20:30

於)八王子労政会館

司会:脇田(副代表/結の会) 川出(事務局長/マインドはちおうじ)

記録:有賀(運営委員/マインドはちおうじ)

17時50分より「逃げ遅れる人々～東日本大震災と障害者」の短縮版を上映。

18時30分より懇談会が開始される。

司会:お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。只今より開催します。会の記録を撮り、ブログ等で公開させていただきますことをご了承ください。挨拶を代表の多田よりあります。

多田代表

雪の予報でありましたが雨となりました。悪天候のところお集まりいただきありがとうございます。逃げ遅れる人々の上映をご覧頂きましたが、津波と原発に関する部分は時間の都合上もありカットしてあります。しかし原発問題について大変な状況もあり我々としても胸を痛めている現状です。本日、ヒューマンケア協会から映画についてお知らせがあるかと思いますが、DVDの販売も始まり、3月30日にはクワイエットホールで完全版の上映会も企画されています。是非ご覧になって頂ければと思います。避難来ている障害者の方からもお話をさせていただき予定です。本日初めてご出席の市議の方も4名ほどいらしています。常連の方もたくさんいらしてくれています。前回の懇談会は南口再開発がテーマでした。トイレや点字ブロックなど問題はありますが、種々の都合ですぐには話が進まない状況もあります。今後はどう変えていくか市とも話していかなくてはなりません。吉本市議は再開発の担当と聞いております。是非会議等では現状をお話いただければと思います。もうひとつお願いがあるのが、懇談会ででた問題点などを市へお話していただく場合は、まず私たちに話していただいてからのほうがスムーズに進むかとも思います。場合によっては人障連のほうが担当課と話をしている場合もあります。何かとトラブルにならないためにも、まずはお声かけをいただくと助かります。本日は防災がテーマです。課題はいろいろある難しいテーマですが、よろしくお願ひします。

司会

ご出席されている市議の皆様から自己紹介をお願いします。

鳴海議員

生活者ネットワークの鳴海有理です。会派は諸派です。都市環境委員会、中心市街地対策特別委員会の所属です。得意分野は最近取り組んでいる内容としては、防災のことも一般質問で取り組んでいます。トイレ、水の確保、要援護者の問題に取り組ましました。中でもすべての人にとって必要なトイレの問題に取り組んで質問をしました。本日はよろしくお願ひします。

陣内市議

無所属の陣内泰子です。所属は諸派です。厚生委員会、中心市街地対策特別委員会の委員をしております。得意分野は高齢者の問題、住み慣れたところで暮らしていく、それにまつわる様々な課題、そんなことを一つずつでも解決していけるように頑張っています。また子供の問題にも関心があります。よろしくお願ひします。

井上市議

社会民主党の井上睦子です。所属は諸派です。総務企画委員会、復興支援・災害対策特別委員会へ所属しています。東京都が防災計画を見直している流れで、八王子市も防災計画を見直しています。夏ころには皆様にパブリックコメントを募集して平成25年中には策定をする状況です。皆様のご意見を様々頂きたいと思っています。得意分野は女性も障害者も高齢者も差別なくこの街で暮らせることを中心に取り組んで活動しています。よろしくお願いいたします。

小林市議

市議会公明党の小林信夫です。総務企画委員会、中心市街地対策特別委員会に所属しています。得意分野はありませんが、強いて言うとお庶民の方からのご相談を中心にくけて代弁しております。本日もご意見を伺って行政にしっかり伝えて実現していきたいと思ひます。

山越市議

日本共産党市議団の責任者をしております、山越拓児です。厚生委員会、ニュータウン対策特別委員会に所属しています。監査委員も努めております。皆さんの意見を伺ってまいりたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

荻田市議

市議会公明党の荻田米蔵と申します。八障連さんの通信はいただいており、全て読まさせていただいております。文教経済委員会、復興支援・災害対策特別委員会へ所属しております。昨年の秋に小中学校防災倉庫を6校くらい見ましたが、課題も多くあります。皆様のご意見を伺って参考にさせていただければと思ひます。よろしくお願いいたします。

大久保市議

大久保賢一です。会派はレポリューション八王子です。文教経済委員会、復興支援・災害特別委員会へ所属しています。宮城県女川町へ5、6回ほど支援で入っております。得意分野は市議になって2年ほどだが、その前は10年間、広告代理店の経験を活かして企業のボランティアなど活動していました。よろしくお願いいたします。

吉本市議

吉本孝良です。会派は自民党新政会に所属しています。文京経済委員会、中心市街地対策特別委員会に所属しています。中心市街地、商業、経済について皆様の意見を反映させていきたいと考え参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

鈴木市議

自民党新政会の鈴木基司と申します。厚生委員会、ニュータウン対策特別委員会に所属しています。得意分野は特段ありません。1年目の新人ですので皆様方のご意見を拝聴しながら勉強させていただければと思ひます。よろしくお願いいたします。

安藤市議

市民・民主クラブに所属しております安藤修三と申します。得意分野はいろいろあるが、敢えて言うとお私は32歳でして、国の借金をみてもわかるとおり、若い世代が負わせられている現状ですが、若い世代が政治に関心がない。それを少しでも変えていきたいと思ひて立候補した経緯があります。障害者の方のご意見もお聞きし、これからの政治活動に活かしていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

島内市議

無所属の島内幸恵です。会派はレボリューション八王子に所属しています。厚生委員会、ニュータウン対策特別委員会です。得意分野は高齢者の介護の仕事をしていたので、介護福祉へ力をいれて行きたいと思います。私が住んでいる地域で自主防災組織を新たに立ち上げることになりました。これからどう運営していくか協議しているが、避難というところでは個人情報という点も本日勉強させていただき、自助と共助とを考えていきたいと思います。よろしくお願いします。

参加団体より活動紹介も踏まえた自己紹介が行われる。

(あっとほうむ／多摩草むらの会／露の会／八王子腎友会／ヒューマンケア協会／八王子視覚障害者福祉協会／NPO 若駒ライフサポート／NPO ぴゅあさぽーとせんたー／ほっとスペース八王子／NPOCES／麦／結の会／ポリオの会／第一若駒の家／八王子大のぶ／八王子市聴覚障害者協会／社会福祉法人マインドはちおうじ)

ヒューマンケア協会から上映した映画のDVD販売の紹介あり。

元市議の若尾氏も出席されており、ご挨拶あり。

司会

八視協の小林さん、3.11(大震災)の当日、どういう状況であったか、またどういう支援があれば良かったかなど状況をお話していただければと思いますが、いかがでしょうか。

八視協

当日は確か家にいて、すごい揺れだったと覚えています。とにかく外に出たほうが良いのか、うかつに外に出て良いものか迷っていましたが、結果としては入口の柱に捕まって揺れるのを待っていました。揺れがなかなか収まらないので心配していたことを覚えています。防災ベストを本日持参しましたが、江戸川区の視覚障害者福祉協会が行政に働きかけて作ってもらったベストです。重度と呼ばれる手帳1級、2級の方に限るが配布されました。他にも普及しようという動きもあり、八王子市でも防災課へ要望をお願いしている状況です。3点セットで呼子もついています。

司会

他に当事者の方で感想や発言はありますでしょうか。

ポリオの会

震災当日は自宅にいました。いろんな物が飛んでくる懸念もあったので部屋から廊下にでて揺れが収まるのを待っていました。地域で町内会の防災訓練もやっているが、参加しても危ないから訓練は体験させられないという部分もあったりして、車椅子のため消防団の方達が手伝ってくれたのですが、終了時は消防団の方々も忙しく、ほったらかしの状態にもなってしまった。映画上映を観ても思ったのですが、みんなが集まる場所へ障害者がいってもどう扱ってもらえるのだろうかという心配があります。自分は家にいたほうがいいのかなど思っている。自分で自分を守ることが大事と思っています。

司会

地域つながりということで小林市議にご意見を伺います。

小林市議

地域のつながりのご意見ありました。大掛かりな訓練も過去行ってことがある。その時は歩行が難しい高齢者を想定しての訓練を行った。様々な形があるが、訓練では障害者の方も積極的に参加いただき、日頃から実際的な訓練をしておく必要があると考えています。辛い思いをされたようですが、これは大きな反省点として取り組んでいくべきと考えます。家にいるか外へ行くかは明確

な答えは言えませんが、少なくとも訓練については積極的に参加いただき、そのことでいろいろあることも想定できますが、逆にまわりも啓発を受けて訓練の際に必要なことを積み上げていけると思います。障害者の方に限定することではないが、災害時の要援護者の方の対応について、全国でも取り組みがありますが、二つ大きな問題がありまして、一つは個人の情報をどう扱うか。災害時に個人情報が入座に使われて援護に繋がるネットワークがスムーズに機能するかという問題。これには個人情報保護の観点からは種々難しい課題がある。個人情報を出したくないという方も当然いらっしゃる現実がある。もう一つは要援護者で個人プランを作っても災害時に責任をもって担当する人員をどう確保するか人手の問題もありますが、少しずつでも訓練や検討で詰めていくしかないと考えています。

司会

避難所で障害者が居づらい原因はどこにあるのか。障害者や健常者の日常的なつながり、付き合いは少ないし、ただでさえ近所付き合いなど希薄な状況はあります。先ほど自主防災組織について取り込まれているとお話があった島内議員からご意見をお願いします。

島内議員

地元の町内会で自主防災組織を立ち上げて、これからの取り組みとなります。要援護者の避難という点では名簿の作成など一つ大きな課題となっています。民生委員が地域に住まわれている方の情報をもっているが、情報は流すことはできないため、新たに町内会で名簿を作成する必要があります。名簿作成でも記載を望まれる方と望まれない方もいらっしゃるし、支援する側も高齢化が進んでいる。そうした課題が上がっている状況です。これから検討をしていかなければいけない現状です。

司会

精神障害者の方も場合はどうでしょうか。

多摩草むらの会

精神障害者の場合は、外見的には目に見えない障害です。地元では近所との関係もあり遠くの地域で働きたい方も多し。要支援者の登録についても希望されない方が出てくると考えます。災害時に心がけたのは平常時と同じ環境を維持することで、いつもと変わりなく通所などの活動をしました。また服薬は重要で、薬の確保は大切であるが、災害時に薬を自分から要望するのは偏見等からも言いづらい方がいる場合もあるかと思えます。

ほっとスペース八王子

食料の備蓄などの問題について不安があり、都や市の備蓄品用意の現状について確認したいです。服薬は薬手帳があるが、災害時に自分が服用している薬がもらえるような体制をとっていただくと安心できます。多めに薬をもらうことで多量服薬してしまう場合もあり、処方量は限られていますので、災害時には各薬局などで備蓄量など確保をお願いできればと思います。かんぱん等の備蓄品があるが、それを食べて下痢を起こしたという話も聞いたことがあります。

沖田議員

昨年、防災倉庫を点検した際に、カンパンや水、毛布があります。避難所によっては障害者の方を対象にした備蓄品がある避難所もあるが、看板がたっているわけではないですが、防災倉庫を開けるとそうした説明書きがあります。備蓄品は備えてありますが、量としては少ない。3日分くらいを確保していないと思える。トイレも倉庫に2階に置いてあったり、細々と見直していかなければならない部分はたくさんあると思っています。

小林議員

かんばんの他にもアルファ米というものもあります。また賞味期限については現在見直しを図っています。5年の賞味期限ならば4年時に更新をするなどしています。今回の予算では備蓄品の量的なことも含めて検討されていると聞いています。しかし支援をする消防隊員や職員の食料は確保されていない現状にあります。それらも課題となります。

第一若駒の家

小学校等を複数回る機会があり、まだ場所によって多目的トイレが付いているところとないところがあります。避難場所として改修が進んでいる学校は多目的トイレを設置するところもあるが、古い年数の場所は改築が進んでいないところもあります。避難場所として見たときに、多目的トイレが体育館にはあるが校舎にはないなど、「障害者対応」と謳っているが十分でない部分があります。おそらく対応しているつもりだが、一時避難所として障害者も含めて対応できるかどうかというイメージが現実的ではない部分も否めない現状があり不安材料となっています。

司会

八聴協さんからはどうでしょうか。

八聴協 様

2年前の防災マニュアルがあり、無料で配布しました。ろう者指定の避難所を8箇所指定したが、災害時はまずは広域避難所に集まることになっています。その後に避難所へ行くが、そこで手話通訳が必要になります。しかし地元では被害地なので他地域からの手話通訳の支援が必要になります。障害者福祉課へ相談にいったが、防災課へ相談して欲しいと言われました。防災課では他へ行って欲しいとたらい回しとなり、どこへ相談すればよいのか行政間でも協定が必要と思いました。紹介したいものに、救急用にもなるタスキがあります。これは耳が聞こえないというメッセージにもなる。他者へのアピールにもなる。

司会

福祉避難所についてご意見があればお願いします。

鳴海議員

八王子市では養護学校などが2次避難所になると思いますが、既存の避難所として活用していくのは必要があると思うが、個人的な意見としては、福祉避難所として分けて考えるは疑問に思うところもあります。福島県では、一時避難所から福祉避難所へ行くよう言われたが、そこには支援者がいなかった現状を聞いています。全ての避難所において支援者がいるようにしなければいけないと思っています。

あっとほうむ 丸山氏

避難所へ移った場合に果たしてヘルパーさんが来るかどうか、介助が受けられるかどうかという不安があります。避難所やトイレ、食料などの物理的なものがあっても肝心の介助をするヘルパーが確保できるかどうかという問題があります。日常生活もままならないのに、被災時にどうしたらよいか不安があり、ヘルパーも被災者となっている場合もあります。

八聴協

東京都から八王子市のボランティアセンターへ災害時に連絡があると思います。やはり、災害時の協定が大事と思うし、ヘルパー派遣についても協定などしっかりした対策が必要だと思います。

ヒューマンケア協会

避難所を学校などとイメージしていると思いますが、市内にあるホテル等を借り上げるなどして活用することも有効的かと思います。

八視協

単身生活の場合は、普段の日常生活では困ることはないですが、災害時には助けに来る人もいないし、自力で避難所にいけないので途端に困ってしまいます。普段から自助努力でいざという場合に備えて確保する必要があるとも思えるし、あるいは町会等のコミュニティーを確立しておくなど必要とも思えるが、小林議員の意見を聞きたい。

小林議員

要援護者の方の実質的な援護者の確保という質問と捉えてよろしいでしょうか。行政が描いているプランでは情報を行政が一括して、要援護者の援護に役立てるということではありますが、個人情報の問題もありますし、先程から意見にある個人の選択の問題もありますので、描いた通りには進まないのが現状です。ましてや自分の生活もある中で災害時に援護者としての役割を貫けるのかという問題もあります。しかし一つ一つやっていくしかないのも現実です。そういったものを目指しているということは事実とは思いますが。それから2次避難所ですが、基本的には福祉的な2次避難所は必要と考えます。理想としてはすべての避難所に障害のある方も含めて対応できる体制があることは理想ですが、現実的には難しい現状があります。障害への支援についても様々なケースがありますのでヘルパーなど協定も含めて2次避難所へ体制作りも重要です。しかし地域外から救援が届くまでは数日かかることが予想されますので、それまでをどう凌ぐかは課題となると考えます。

大久保議員

小林議員と同じこととお話しようかと思っていました。産業界ではBCP(事業継続計画 business continuity plan)といって工場が潰れた時に他の場所で生産を続ける協定を結ぶ事業があります。八王子市でもありますが、福祉でもそうした災害時に少し離れた地域との協定があると良いかと思えます。

若尾元議員

障害のお持ちの方が避難所や被災後の生活での不安の声を聞きました。私がまず思うのはまずは家具の転倒防止など自身を守る対策をすることが大事と思えます。自主防災についても要援護者支援マニュアルはまだ各地域で作られていないので、是非地域全体で推進していくのが大切と考えています。しかしこれは要援護者として手を挙げていくというのも重要になってくるので、システム作りと同様に手を挙げていくということも、市議会も含めて推進していくことも大切と感じている。

司会

知的障害者の方にとって、現場の様子も含めてどうでしょうか

NPO 法人 CES(せす)

3・11の時は動けない方が複数名いらっしゃったと聞いています。防災頭巾をかぶっての避難訓練を実施しています。避難所の問題が一番いいのは地域で一緒に助け合っていければ良いが、現実的には難しい面もあります。知的障害の場合はパニック等もありますので一般の方と一緒に避難所で理解を得られるかという不安は職員も家族もあります。私どもとしては地域の自主防災組織づくりに取り組んでいるが、課題は切りがないくらい多い。防災をきっかけとして地域のみなさんに、障害者の方の問題を知っていただくことになればと考えている。普段からの地域との連携が大事であると感じています。

個人賛助会員

かんぱん等を訓練時に食したことがありますが、とても食べにくい。障害や年齢によっては食しにくいものがあります。そうしたことへの研究が進むことが大事だと思います。障害によっては食事の形態は大事であり、食事に対する想定層を広げて研究する必要を感じます。八王子市は近隣の立川断層もありますし、重要に感じます。その際に行政としても出来ることと出来ないこともあるかと思いますが、それをはっきり市民に(前もって)提示することも大事ではないかと考えます。

司会

市議からの感想などあればお願いします。

ヒューマンケア協会

個人的な映画に対する意見として、日頃からの積み重ねも大切と考えます。個人情報について意見がありましたが、支援を受ける人自身がメリットを感じられる支援の中身が大切と感じました。様々な生活状況があるなかで、要支援者が自身で名簿に記入できるような支援の中身が明確で体制が作られていて、当事者が納得して受けられるような仕組み作りを目指していくことが重要であると考えます。個別支援が充実しているのであれば、場所は問われなと思います。

鈴木議員

本日はありがとうございます。広域での援助体制の大切さを感じました。先日、町会からの住民が抜けてしまう事例があると聞きますが、災害時の話し合いを持っていくことは大切と感じました。近隣との付き合いは大切であり、市としても2次避難所については12床締結していますので、更に大切にして体制作りを仕組み作りが重要と思いました。

陣内議員

八王子市には八障連という繋がりや団体も多数あります。横の連携も大切と感じました。現場に沿った具体的なシュミレーションをしていただき、ここは行政が必要とか、ここは他の地域の方とか、当事者の方々がまず何が必要なのかということを発信していただき、共に協力していければと思います。

安藤議員

当事者の方からの生のご意見をお聞きして、今までにかけていた視点があったと勉強させていただきました。私自身も消防団をさせていただいており、お話を聞いて反省をしております。ヘルパー協定についても勉強させていただきました。今回限りではなく、問題点を絞って議論を深めたいと考えます。

吉本議員

トイレの問題が提起されましたが、今解決できる問題を一つ一つ解決してかないといけないと思いました。震災について一番の問題は自身の命を守ることと思いますが、そのために地域と繋がりがもてないというお話も聞きました。八障連という組織を使っても良いと思いますし、その手段をもっと深く勉強していきたいと思いました。

山起議員

当事者の方からは支援組織等に参加しているお話は聞けなかったもので、まだ整備不足は感じています。名簿は作っているが、制度上の問題もあります。その点も含めてけんとうしていきたいと思っています。

井上議員

福島の障害当事者の方から聞いた情報からは、ホテル避難者からの情報からは快適な避難生活と聞きました。今後もホテルが避難所という案も必要かと思いました。被災時の場合は障害者自身も勇気を持って言ってもらいたいと思いました。私たちは言うだけでなければわからないこともありますので、相互理解という意味で思いました。

杉浦代表から閉会の挨拶

種々の事柄からはっきりとは言えない部分もあるが、環境も状況も変化する災害時に自身の命の決断を障害当事者自身が下さなくてはいけないことは事実であり、当事者側も学べる懇談会となりました。それぞれに思うところはあると思いますが、実りある懇談会であったと思います。今回に限らずに、意見交換が続いていければと思います。どうもありがとうございました。

司会

以上により、懇談会を終了致します。